

平成16年11月12日

各 位

平成16年12月期第3四半期業績状況



上場会社名 株式会社ベストブライダル
 (コード番号 2418 東証マザーズ)
 本社所在地 東京都渋谷区東三丁目11番10号
 代表者 代表取締役社長 塚田 正之
 問合せ先 取締役経営企画本部長 澁田 隆一
 TEL 03(5464)0081 (代表)
 URL <http://www.bestbridal.co.jp/>

1. 業 績

(1) 平成16年12月期第3四半期の業績 (平成16年1月1日～平成16年9月30日) (百万円未満切捨)

	平成15年12月期 第3四半期 (前年同期)	平成16年12月期 第3四半期 (当四半期)	対前年増減率	平成15年12月期 前期(通期)
	百万円	百万円	%	百万円
売上高	—	10,147	—	11,208
営業利益	—	1,160	—	997
経常利益	—	1,065	—	876
四半期(当期)純利益	—	455	—	431
総資産	—	10,821	—	9,389
株主資本	—	1,596	—	1,140

(2) 部門別売上高 (百万円未満切捨)

	平成15年12月期 第3四半期		平成16年12月期 第3四半期		対前年増減率	平成15年12月期 前期(通期)	
	金額	構成比	金額	構成比		金額	構成比
	百万円	%	百万円	%	%	百万円	%
国内事業部門	—	—	8,331	82.1	—	8,723	77.8
海外事業部門	—	—	1,816	17.9	—	2,484	22.2
合計	—	—	10,147	100.0	—	11,208	100.0

(注) 1. 平成15年12月期第3四半期につきましては、四半期財務諸表を作成しておりませんので、記載を省略しております。

2. 当第3四半期貸借対照表、第3四半期損益計算書は、株式会社東京証券取引所の「上場有価証券の発行者の会社情報の適時開示等に関する規則の取扱い」の別添に定められている「四半期財務諸表に対する意見表明に係る基準」に基づく優成監査法人の手續を実施しております。

2. 業績の概況（平成16年1月1日～平成16年9月30日）

当第3四半期の概況

当第3四半期におけるわが国経済は、原油価格の先行き不透明かつ内外経済に与える影響が懸念されるものの、企業収益の改善による就業者数の増加が見られ、個人消費は穏やかな増加を続けており、景気は堅調に回復しております。

当社が事業を展開するブライダル市場につきましても、依然“団塊ジュニア世代”が結婚適齢期を迎え、引き続き活性化しております。そうした状況のもとで、当社が提供するゲストハウス・ウェディングは多くの支持を得ることができ、当第3四半期会計期間におきましては、概ね計画通りに推移いたしました。

この結果、当第3四半期の業績は、売上高10,147百万円、売上総利益2,537百万円、営業利益1,160百万円、経常利益1,065百万円、第3四半期純利益455百万円となりました。

なお、前年同四半期は四半期財務諸表を作成しておりませんので、前年同期との比較は行っておりません。

これを事業部門別に見ますと、各事業部門における業績は次のとおりであります。

① 国内事業部門

各事業所におきましては、既存店舗が好調に推移しました。特に昨年オープンした大阪事業所と仙台事業所が、売上・利益の増加に寄与いたしました。

この結果、同部門の売上高は8,331百万円となりました。

② 海外事業部門

国内7ヶ所の販売サロンを通して、海外挙式の受注拡大及びサービス拡大に注力した結果、業績は順調に推移しました。

この結果、同部門の売上高は1,816百万円となりました。

3. 当期の見通し（平成16年1月1日～平成16年12月31日）

当社の提唱するゲストハウス・ウェディングは、競争の激しいウェディング業界にあつて順調に増加しております。国内事業部門においては、企画から挙式までの全てをサポートするオリジナリティ溢れるウェディングサービスを提供し、高単価・高収益率を実現しております。

海外事業部門では、お客様の要望にウェディングプロデューサーがきめ細かく対応し、旅行から挙式までの一貫した商品・サービスを提供することで、高単価・高収益率を実現しております。

当社の成長は出店により維持されており、顧客のニーズを的確に把握し、積極的な出店開発に注力、来期の新店舗開業に努めております。

このような中、当期の業績見通しにつきましては、売上高14,194百万円、経常利益1,493百万円、当期純利益722百万円を見込んでおり、平成16年10月28日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

(注) 業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社において判断したものであります。予想には様々な不確定要素が内在しており、実際の業績はこれらの予想数値と異なる場合があります。

4. 四半期財務諸表等

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

科 目	期 別	当第3四半期会計期間末 (平成16年9月30日)		前事業年度の 要約貸借対照表 (平成15年12月31日)	
		金 額	構成比	金 額	構成比
(資産の部)			%		%
I 流動資産					
1. 現金及び預金	※2	3,273,306		2,542,361	
2. 売掛金		28,575		26,890	
3. たな卸資産		35,924		7,443	
4. その他		388,545		395,527	
貸倒引当金		△180		△500	
流動資産合計		3,726,172	34.4	2,971,722	31.6
II 固定資産					
1. 有形固定資産	※1				
(1) 建物	※2	4,058,068		4,140,114	
(2) 構築物		737,745		732,364	
(3) その他	※2	845,730		142,206	
計		5,641,544		5,014,685	
2. 無形固定資産		19,727		18,810	
3. 投資その他の資産					
(1) 保証金	※2	707,287		596,378	
(2) その他	※2	701,066		746,595	
計		1,408,354		1,342,973	
固定資産合計		7,069,626	65.3	6,376,469	67.9
III 繰延資産		26,062	0.3	41,700	0.4
資産合計		10,821,861	100.0	9,389,892	100.0

(単位：千円)

期 別 科 目	当第3四半期会計期間末 (平成16年9月30日)		前事業年度の 要約貸借対照表 (平成15年12月31日)	
	金 額	構成比	金 額	構成比
(負債の部)		%		%
I 流動負債				
1. 買掛金	670,840		506,074	
2. 短期借入金	170,000		84,000	
3. 一年以内返済長期借入金 ※2	1,049,296		1,126,105	
4. 未払法人税等	218,652		309,235	
5. 前受金	1,185,366		557,771	
6. 賞与引当金	34,832		21,293	
7. その他 ※4	664,860		1,068,080	
流動負債合計	3,993,849	36.9	3,672,560	39.1
II 固定負債				
1. 社債	1,140,000		1,320,000	
2. 長期借入金 ※2	3,379,952		2,538,390	
3. 預り営業保証金	545,000		537,000	
4. 退職給付引当金	13,180		9,555	
5. 役員退職慰労引当金	108,400		94,700	
6. その他	44,980		77,006	
固定負債合計	5,231,512	48.3	4,576,651	48.7
負債合計	9,225,362	85.2	8,249,212	87.8
(資本の部)				
I 資本金	64,000	0.6	64,000	0.6
II 利益剰余金				
1. 利益準備金	8,000		8,000	
2. 任意積立金	15,000		15,000	
3. 第3四半期(当期)未処分利益	1,509,498		1,053,680	
利益剰余金合計	1,532,498	14.2	1,076,680	11.4
資本合計	1,596,498	14.8	1,140,680	12.1
負債資本合計	10,821,861	100.0	9,389,892	100.0

(2) 四半期損益計算書

(単位：千円)

科 目	期 別	当第3四半期会計期間 (自平成16年1月1日 至平成16年9月30日)		前事業年度の 要約損益計算書 (自平成15年1月1日 至平成15年12月31日)	
		金 額	百分比	金 額	百分比
I 売上高		10,147,952	100.0	11,208,624	100.0
II 売上原価		7,610,400	75.0	8,487,013	75.7
売上総利益		2,537,551	25.0	2,721,611	24.2
III 販売費及び一般管理費		1,377,263	13.6	1,724,396	15.3
営業利益		1,160,287	11.4	997,214	8.8
IV 営業外収益 ※1		23,364	0.3	86,773	0.7
V 営業外費用 ※2		118,300	1.2	207,192	1.8
経常利益		1,065,351	10.5	876,795	7.8
VI 特別利益 ※3		—	—	220	0.0
VII 特別損失 ※4		169,841	1.7	9,036	0.0
税引前第3四半期(当期) 純利益		895,510	8.8	867,979	7.7
法人税、住民税及び事業 税 ※6	439,691			543,253	
法人税等調整額	—	439,691	4.3	△106,669	3.8
第3四半期(当期)純利益		455,818	4.5	431,395	3.8
前期繰越利益		1,053,680		622,284	
第3四半期(当期)未処分 利益		1,509,498		1,053,680	

四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項

期 別 項 目	当第3四半期会計期間 (自平成16年1月1日 至平成16年9月30日)	前事業年度 (自平成15年1月1日 至平成15年12月31日)
1. 資産の評価基準及び評価方法	<p>(1) 有価証券 満期保有目的の債券 償却原価法（定額法） 子会社株式及び関連会社株式 移動平均法による原価法 その他有価証券 時価のないもの 移動平均法による原価法</p> <p>(2) デリバティブ 時価法</p> <p>(3) たな卸資産 貯蔵品・・・最終仕入原価法</p>	<p>(1) 有価証券 子会社株式及び関連会社株式 同左 その他有価証券 時価のないもの 同左</p> <p>(2) デリバティブ 同左</p> <p>(3) たな卸資産 貯蔵品・・・同左</p>
2. 固定資産の減価償却の方法	<p>(1) 有形固定資産・・・定率法 ただし、平成10年4月1日以降に取得した建物（付属設備を除く）については定額法を採用しております。 なお、定期借地権契約による借地上の建物及び構築物については、耐用年数を定期借地権の残存期間、残存価額を零とした定額法によっております。</p> <p>(2) 無形固定資産・・・定額法 なお、自社利用のソフトウェアについては、社内における利用可能期間（5年）に基づいております。</p> <p>(3) 長期前払費用・・・定額法</p>	<p>(1) 有形固定資産 同左</p> <p>(2) 無形固定資産 同左</p> <p>(3) 長期前払費用・・・同左</p>

期 別 項 目	当第3四半期会計期間 (自平成16年1月1日 至平成16年9月30日)	前事業年度 (自平成15年1月1日 至平成15年12月31日)
3. 引当金の計上基準	<p>(1) 貸倒引当金 債権の貸倒れに備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を勘案し、回収不能見込額を計上しております。</p> <p>(2) 賞与引当金 従業員に対する賞与の支給に充てるため、支給対象期間に応じた支給見込額を計上しております。</p> <p>(3) 退職給付引当金 従業員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務見込額に基づき当第3四半期会計期間末において発生していると認められる額を計上しております。</p> <p>(4) 役員退職慰労引当金 役員の退職慰労金の支出に備えるため、内規に基づく第3四半期末要支給額を計上しております。</p>	<p>(1) 貸倒引当金 同左</p> <p>(2) 賞与引当金 同左</p> <p>(3) 退職給付引当金 従業員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務見込額に基づき計上しております。</p> <p>(4) 役員退職慰労引当金 役員の退職慰労金の支出に備えるため、内規に基づく期末要支給額を計上しております。</p>
4. リース取引の処理方法	リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっております。	同左

期 別 項 目	当第3四半期会計期間 (自平成16年1月1日 至平成16年9月30日)	前事業年度 (自平成15年1月1日 至平成15年12月31日)
5. ヘッジ会計の方法	<p>(1) ヘッジ会計の方法 繰延ヘッジ処理を採用しております。また、金利スワップについて特例処理の条件を満たしている場合には特例処理を採用しております。</p> <p>(2) ヘッジ手段とヘッジ対象 ヘッジ手段 為替予約、通貨スワップ、金利スワップ ヘッジ対象 外貨建金銭債権債務、外貨建予定取引、借入金</p> <p>(3) ヘッジ方針 当社の利用するデリバティブ取引は、為替変動リスク及び金利変動リスクをヘッジするために実需に基づき行うこととしており、投機を目的とした取引は行わないこととしております。</p> <p>(4) ヘッジ有効性評価の方法 ヘッジ対象の相場変動又はキャッシュ・フロー変動とヘッジ手段の相場変動又はキャッシュ・フロー変動の間に高い相関関係があることを確認し、有効性の評価方法としております。</p>	<p>(1) ヘッジ会計の方法 同左</p> <p>(2) ヘッジ手段とヘッジ対象 ヘッジ手段 同左 ヘッジ対象 同左</p> <p>(3) ヘッジ方針 同左</p> <p>(4) ヘッジ有効性評価の方法 同左</p>

期 別 項 目	当第3四半期会計期間 (自平成16年1月1日 至平成16年9月30日)	前事業年度 (自平成15年1月1日 至平成15年12月31日)
6. その他四半期財務諸表(財務諸表)作成のための基本となる重要な事項	<p>(1) 消費税等の会計処理 税抜方式によっております。</p> <hr/>	<p>(1) 消費税等の会計処理 同左</p> <p>(2) 自己株式及び法定準備金の取崩等に関する会計基準 当事業年度から「自己株式及び法定準備金の取崩等に関する会計基準」(企業会計基準第1号)を適用しております。これによる当事業年度の損益に与える影響はありません。 なお、財務諸表等規則の改正により、当事業年度における貸借対照表の資本の部については、改正後の財務諸表等規則により作成しております。</p> <p>(3) 1株当たり情報 当事業年度から「1株当たり当期純利益に関する会計基準」(企業会計基準第2号)及び「1株当たり当期純利益に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第4号)を適用しております。なお、これによる影響については、「1株当たり情報」に関する注記に記載しております。</p>

注記事項

(四半期貸借対照表関係)

当第3四半期会計期間末 (平成16年9月30日)	前事業年度末 (平成15年12月31日)																																																														
<p>※1. 有形固定資産の減価償却累計額 1,201,065千円</p> <p>※2. 担保に供している資産及びこれに対応する債務は次のとおりであります。 (担保に供している資産)</p> <table style="width: 100%;"> <tr> <td>現金及び預金</td> <td style="text-align: right;">108,022千円</td> </tr> <tr> <td>建物</td> <td style="text-align: right;">2,807,962千円</td> </tr> <tr> <td>有形固定資産</td> <td></td> </tr> <tr> <td> その他(土地)</td> <td style="text-align: right;">351,869千円</td> </tr> <tr> <td> その他(建設仮勘定)</td> <td style="text-align: right;">300,932千円</td> </tr> <tr> <td>保証金</td> <td style="text-align: right;">138,973千円</td> </tr> <tr> <td>投資その他の資産</td> <td></td> </tr> <tr> <td> <u>その他(長期性預金)</u></td> <td style="text-align: right;"><u>277,625千円</u></td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td style="text-align: right;">3,985,385千円</td> </tr> </table> <p>(上記に対応する債務)</p> <table style="width: 100%;"> <tr> <td>長期借入金</td> <td style="text-align: right;">2,837,462千円</td> </tr> </table> <p>(一年以内返済長期借入金を含む)</p> <table style="width: 100%;"> <tr> <td>債務保証</td> <td style="text-align: right;">444,200千円</td> </tr> </table> <p>(関係会社の借入金債務)</p> <p>3. 偶発債務 債務保証 次の関係会社の金融機関からの借入に対し債務保証を行っております。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">保証先</th> <th style="width: 20%;">金額 (千円)</th> <th style="width: 60%;">内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Best Bridal Hawaii, Inc.</td> <td style="text-align: right;">444,200</td> <td>借入債務</td> </tr> <tr> <td>(株)ベストプランニング</td> <td style="text-align: right;">125,567</td> <td>借入債務</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">合計</td> <td style="text-align: right;">569,767</td> <td style="text-align: center;">—</td> </tr> </tbody> </table> <p>Best Bridal Hawaii, Inc.の外貨建債務保証は、4,000千米ドルであります。</p> <p>※4. 消費税等の取扱い 仮払消費税等及び仮受消費税等は、相殺のうえ、金額的重要性が乏しいため、流動負債の「その他」に含めて表示しております。</p>	現金及び預金	108,022千円	建物	2,807,962千円	有形固定資産		その他(土地)	351,869千円	その他(建設仮勘定)	300,932千円	保証金	138,973千円	投資その他の資産		<u>その他(長期性預金)</u>	<u>277,625千円</u>	合計	3,985,385千円	長期借入金	2,837,462千円	債務保証	444,200千円	保証先	金額 (千円)	内容	Best Bridal Hawaii, Inc.	444,200	借入債務	(株)ベストプランニング	125,567	借入債務	合計	569,767	—	<p>※1. 有形固定資産の減価償却累計額 834,226千円</p> <p>※2. 担保に供している資産及びこれに対応する債務は次のとおりであります。 (担保に供している資産)</p> <table style="width: 100%;"> <tr> <td>現金及び預金</td> <td style="text-align: right;">108,018千円</td> </tr> <tr> <td>建物</td> <td style="text-align: right;">2,870,758千円</td> </tr> <tr> <td>保証金</td> <td style="text-align: right;">150,094千円</td> </tr> <tr> <td>投資その他の資産</td> <td></td> </tr> <tr> <td> <u>その他(長期性預金)</u></td> <td style="text-align: right;"><u>267,875千円</u></td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td style="text-align: right;">3,396,746千円</td> </tr> </table> <p>(上記に対応する債務)</p> <table style="width: 100%;"> <tr> <td>長期借入金</td> <td style="text-align: right;">2,069,277千円</td> </tr> </table> <p>(一年以内返済長期借入金を含む)</p> <table style="width: 100%;"> <tr> <td>債務保証</td> <td style="text-align: right;">227,693千円</td> </tr> </table> <p>(関係会社の借入金債務)</p> <p>3. 偶発債務 債務保証 次の関係会社の金融機関からの借入に対し債務保証を行っております。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">保証先</th> <th style="width: 20%;">金額 (千円)</th> <th style="width: 60%;">内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Best Bridal Hawaii, Inc.</td> <td style="text-align: right;">227,693</td> <td>借入債務</td> </tr> <tr> <td>(株)ベストプランニング</td> <td style="text-align: right;">60,000</td> <td>借入債務</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">合計</td> <td style="text-align: right;">287,693</td> <td style="text-align: center;">—</td> </tr> </tbody> </table> <p>Best Bridal Hawaii, Inc.の外貨建債務保証は、2,125千米ドルであります。</p> <p>※4. _____</p>	現金及び預金	108,018千円	建物	2,870,758千円	保証金	150,094千円	投資その他の資産		<u>その他(長期性預金)</u>	<u>267,875千円</u>	合計	3,396,746千円	長期借入金	2,069,277千円	債務保証	227,693千円	保証先	金額 (千円)	内容	Best Bridal Hawaii, Inc.	227,693	借入債務	(株)ベストプランニング	60,000	借入債務	合計	287,693	—
現金及び預金	108,022千円																																																														
建物	2,807,962千円																																																														
有形固定資産																																																															
その他(土地)	351,869千円																																																														
その他(建設仮勘定)	300,932千円																																																														
保証金	138,973千円																																																														
投資その他の資産																																																															
<u>その他(長期性預金)</u>	<u>277,625千円</u>																																																														
合計	3,985,385千円																																																														
長期借入金	2,837,462千円																																																														
債務保証	444,200千円																																																														
保証先	金額 (千円)	内容																																																													
Best Bridal Hawaii, Inc.	444,200	借入債務																																																													
(株)ベストプランニング	125,567	借入債務																																																													
合計	569,767	—																																																													
現金及び預金	108,018千円																																																														
建物	2,870,758千円																																																														
保証金	150,094千円																																																														
投資その他の資産																																																															
<u>その他(長期性預金)</u>	<u>267,875千円</u>																																																														
合計	3,396,746千円																																																														
長期借入金	2,069,277千円																																																														
債務保証	227,693千円																																																														
保証先	金額 (千円)	内容																																																													
Best Bridal Hawaii, Inc.	227,693	借入債務																																																													
(株)ベストプランニング	60,000	借入債務																																																													
合計	287,693	—																																																													

(四半期損益計算書関係)

当第3四半期会計期間 (自平成16年1月1日 至平成16年9月30日)	前事業年度 (自平成15年1月1日 至平成15年12月31日)
※1. 営業外収益のうち主要なもの 受取利息 4,398千円 関係会社業務受託料 14,400千円 ※2. 営業外費用のうち主要なもの 支払利息 62,828千円 社債利息 12,921千円 社債発行費償却 15,637千円 ※3. _____ ※4. 特別損失のうち主要なもの 建物除却損 112,835千円 構築物除却損 7,076千円 事業所閉鎖費用 48,554千円 (事業所閉鎖費用の主なものは、原状回復費用及び保証金償却額であります。) 5. 減価償却実施額 有形固定資産 420,688千円 無形固定資産 2,622千円 ※6. 当第3四半期会計期間における税金費用については、簡便法による税効果会計を適用しているため法人税等調整額は、「法人税、住民税及び事業税」に含めて表示しております。	※1. 営業外収益のうち主要なもの 受取利息 12,141千円 関係会社業務受託料 19,200千円 ※2. 営業外費用のうち主要なもの 支払利息 90,298千円 社債利息 6,073千円 社債発行費償却 20,850千円 ※3. 特別利益のうち主要なもの 貸倒引当金戻入益 220千円 ※4. 特別損失のうち主要なもの 建物除却損 4,922千円 器具備品除却損 2,516千円 5. 減価償却実施額 有形固定資産 419,574千円 無形固定資産 6,546千円 ※6. _____

(リース取引関係)

当第3四半期会計期間 (自平成16年1月1日 至平成16年9月30日)				前事業年度 (自平成15年1月1日 至平成15年12月31日)			
1. リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引				1. リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引			
(1) リース物件の取得価額相当額、減価償却累計額相当額及び第3四半期末残高相当額				(1) リース物件の取得価額相当額、減価償却累計額相当額及び期末残高相当額			
	取得価額 相当額 (千円)	減価償却 累計額相 当額 (千円)	第3四半 期末残高 相当額 (千円)		取得価額 相当額 (千円)	減価償却 累計額相 当額 (千円)	期末残高 相当額 (千円)
有形固定資産 その他 (器具備品)	1,273,140	532,101	741,038	有形固定資産 その他 (器具備品)	1,314,327	381,261	933,066
有形固定資産 その他 (車両運搬具)	16,549	2,969	13,579	有形固定資産 その他 (車両運搬具)	18,824	6,984	11,839
合計	1,289,689	535,071	754,618	合計	1,333,152	388,246	944,905
(2) 未経過リース料第3四半期末残高相当額				(2) 未経過リース料期末残高相当額			
1年内				230,635千円			
1年超				564,235千円			
合計				794,870千円			
(3) 支払リース料、減価償却費相当額及び支払利息相当額				(3) 支払リース料、減価償却費相当額及び支払利息相当額			
支払リース料				225,044千円			
減価償却費相当額				189,289千円			
支払利息相当額				41,787千円			
(4) 減価償却費相当額の算定方法				(4) 減価償却費相当額の算定方法			
リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法によっております。				同左			
(5) 利息相当額の算定方法				(5) 利息相当額の算定方法			
リース料総額とリース物件の取得価額相当額との差額を利息相当額とし、各期への配分方法については、利息法によっております。				同左			
2. オペレーティング・リース取引				2. オペレーティング・リース取引			
未経過リース料				未経過リース料			
1年内				1,832千円			
1年超				1,878千円			
合計				3,710千円			
未経過リース料				未経過リース料			
1年内				2,073千円			
1年超				3,191千円			
合計				5,265千円			

(有価証券関係)

当第3四半期会計期間及び前事業年度のいずれにおいても子会社株式及び関連会社株式で時価のあるものはありません。

(1株当たり情報)

当第3四半期会計期間 (自平成16年1月1日 至平成16年9月30日)		前事業年度 (自平成15年1月1日 至平成15年12月31日)									
1株当たり純資産額	124,726円48銭	1株当たり純資産額	356,462円61銭								
1株当たり第3四半期純利益金額	35,610円82銭	1株当たり当期純利益金額	134,811円12銭								
<p>潜在株式調整後1株当たり第3四半期純利益金額については、潜在株式がないため記載しておりません。</p> <p>当社は、平成16年3月10日付で株式1株につき2株の株式分割を、平成16年5月11日付で株式1株につき2株の株式分割を行っております。</p> <p>なお、当該株式分割が前期首に行われたと仮定した場合の前事業年度における1株当たり情報については、以下のとおりとなります。</p>		<p>潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式がないため記載しておりません。</p> <p>当事業年度から「1株当たり当期純利益に関する会計基準」(企業会計基準第2号)及び「1株当たり当期純利益に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第4号)を適用しております。</p> <p>なお、当事業年度において、従来と同様の方法によった場合の1株当たり純資産額及び1株当たり当期純利益金額に与える影響はありません。</p>									
<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">前事業年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1株当たり純資産額</td> <td>89,115円65銭</td> </tr> <tr> <td>1株当たり当期純利益金額</td> <td>33,702円77銭</td> </tr> <tr> <td colspan="2"> <p>潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式がないため記載しておりません。</p> </td> </tr> </tbody> </table>		前事業年度		1株当たり純資産額	89,115円65銭	1株当たり当期純利益金額	33,702円77銭	<p>潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式がないため記載しておりません。</p>			
前事業年度											
1株当たり純資産額	89,115円65銭										
1株当たり当期純利益金額	33,702円77銭										
<p>潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式がないため記載しておりません。</p>											

(注) 1株当たり第3四半期(当期)純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	当第3四半期会計期間 (自平成16年1月1日 至平成16年9月30日)	前事業年度 (自平成15年1月1日 至平成15年12月31日)
第3四半期(当期)純利益 (千円)	455,818	431,395
普通株主に帰属しない金額 (千円)	—	—
普通株式に係る第3四半期(当期)純利益 (千円)	455,818	431,395
期中平均株式数 (株)	12,800	3,200

(重要な後発事象)

当第3四半期会計期間 (自平成16年1月1日 至平成16年9月30日)	前事業年度 (自平成15年1月1日 至平成15年12月31日)								
<p>当社は、平成16年9月27日及び平成16年10月8日開催の取締役会において、次のとおり新株式の発行を決議し、平成16年10月27日に払込が完了しました。</p> <p>この結果、平成16年10月28日付で資本金は472,000千円、資本準備金は634,720千円、発行済株式総数は13,600株となっております。</p> <p>① 募集方法 一般募集 (ブックビルディング方式)</p> <p>② 発行新株式数 普通株式 800株</p> <p>③ 発行価格 1株につき1,400,000円 一般募集はこの価格にて行いました。</p> <p>④ 引受価額 1株につき1,303,400円 この価額は当社が引受人より1株当たりの新株式払込金として受取った金額であります。なお、発行価格と引受価額との差額の総額は引受人の手取金となります。</p> <p>⑤ 発行価額 1株につき1,020,000円 (資本組入額 510,000円)</p> <p>⑥ 発行価額の総額 816,000千円</p> <p>⑦ 払込金額の総額 1,042,720千円</p> <p>⑧ 資本組入額の総額 408,000千円</p> <p>⑨ 払込期日 平成16年10月27日</p> <p>⑩ 配当起算日 平成16年7月1日</p> <p>⑪ 資金の使途 婚礼施設等への設備投資</p>	<p>当社は、平成16年2月19日開催の取締役会において株式の分割に関し、下記のとおり決議しております。</p> <p>① 分割により増加する株式数 普通株式 3,200株</p> <p>② 分割の方法 平成16年3月10日最終の株主名簿に記載された株主に対し、その所有株式1株につき2株の割合をもって株式を分割する。</p> <p>③ 配当起算日 平成16年1月1日</p> <p>当社は、平成16年4月23日開催の取締役会において株式の分割に関し、下記のとおり決議しております。</p> <p>① 分割により増加する株式数 普通株式 6,400株</p> <p>② 分割の方法 平成16年5月11日最終の株主名簿に記載された株主に対し、その所有株式1株につき2株の割合をもって株式を分割する。</p> <p>③ 配当起算日 平成16年1月1日</p> <p>上記株式分割が前期首に行われたと仮定した場合の前事業年度における1株当たり情報及び当期首に行われたと仮定した場合の当事業年度における1株当たり情報は、それぞれ以下のとおりになります。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">前事業年度</th> <th style="text-align: center;">当事業年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1株当たり純資産額 60,412円87銭</td> <td>1株当たり純資産額 89,115円65銭</td> </tr> <tr> <td>1株当たり当期純利益 金額 36,678円45銭</td> <td>1株当たり当期純利益 金額 33,702円77銭</td> </tr> <tr> <td>潜在株式調整後1株当たり 当期純利益金額につ いては、潜在株式がない ため記載しておりませ ん。</td> <td>同左</td> </tr> </tbody> </table>	前事業年度	当事業年度	1株当たり純資産額 60,412円87銭	1株当たり純資産額 89,115円65銭	1株当たり当期純利益 金額 36,678円45銭	1株当たり当期純利益 金額 33,702円77銭	潜在株式調整後1株当たり 当期純利益金額につ いては、潜在株式がない ため記載しておりませ ん。	同左
前事業年度	当事業年度								
1株当たり純資産額 60,412円87銭	1株当たり純資産額 89,115円65銭								
1株当たり当期純利益 金額 36,678円45銭	1株当たり当期純利益 金額 33,702円77銭								
潜在株式調整後1株当たり 当期純利益金額につ いては、潜在株式がない ため記載しておりませ ん。	同左								